



〒108-0071
港区白金台 3-7-1
(3443)
5666



<http://shirokanedai-kg.minato-tky.ed.jp/>

「みんなのおまつり」

異年齢の友達との関わり



東京オリンピック スポーツの力

園長 新井 智子

暑さと大雨とコロナ禍と、今年もやるせなさが残る夏でした。その中であって、東京オリンピック、甲子園、そしてメジャーリーグでの大谷選手の活躍など、スポーツの話題で、心躍るひと時を過ごすことができました。

振り返ると、5年前の夏もリオのオリンピックで日本選手が活躍したり、メジャーリーグのイチロー選手が 3000 本安打を達成したりと、明るい話題がありました。海外での日本人の活躍を大いに誇らしく、嬉しく思ったことを覚えています。今年は、自国開催にも関わらず無観客となり、選手の息遣いや試合の臨場感に直接触れることは叶いませんでした。しかし、新種目の若い選手の躍動やゲーム競技の勢いあるチームプレーに人々は目を奪われました。日本史上最多のメダル獲得に連日湧きました。スポーツは、人々の気持ちを元気にし、勇気を与えてくれます。

また、大きく取り上げられることがなかった競技での選手の奮闘、失敗して十分な力を出せなかった選手、期待されながらも予選敗退を期してしまった選手など、メダリストだけではなく、勝敗を超えた人間ドラマがあり、人々の胸を打ちました。競技を終えた選手の言葉に感動と重みがあります。結果が全てという人もいますが、「オリンピックの価値」をどう考えるかは、選手一人ひとり異なります。オリンピックまでの道程、舞台に立つ瞬間を尊いものとし、幸せを感じる人もいるでしょう。競泳選手の「もう一度泳げた今が一番幸せ」体操選手の「努力しても報われないことがある」など、選手の言葉に、重みと深い共感を覚えます。

生活が充実する2学期、学年の違いこそあれ、子どもたちは様々なことに挑戦し、試行錯誤しながら、頑張ること、乗り越えることの大切さを学び、やり遂げる充足感や幸福感を味わうことでしょう。運動会に関わる活動もその一つです。幼児期の経験は、これからの人生の自分自身の価値観につながるものだと思います。子どもたちの経験が、次に向かう自信や意欲の源になり、力強く進む礎になるよう、教職員一同指導に邁進していきます。

< 9月の指導のねらい >

3歳児

- 園生活のリズムを取り戻しながら、自分のしたい遊びを見つけて繰り返し楽しむ。
- 教師や友達と一緒に伸び伸びと体を動かす心地よさを味わう。

4歳児

- 園生活に必要なことを思い出しながら、自分から様々な活動に取り組もうとする。
- 遊びの中でいろいろな動きをしたり、思い切り体を動かしたりすることを楽しむ。
- 草花や木の実、虫などに関心を持ち、観察したり遊びに使ったりすることを楽しむ。

5歳児

- 友達と思いや考えを出し合い、受け止め合いながら遊びや活動を進めていく楽しさを味わう。
- 様々な動きに挑戦したりルールのある遊びをしたりする中で、自分の力を発揮し、友達との関わりを楽しむ。
- 身近な自然の変化に気付き、草花や虫、栽培物などに興味をもって関わったり遊びに取り入れたりすることを楽しむ。



